



真狩村社会福祉協議会

# 広報むつみ

第106号

令和4年6月1日発行  
真狩村社会福祉協議会  
虻田郡真狩村字真狩17番地  
電話:0136-45-3105

★この広報誌は共同募金の助成で制作をしています★

## 24時間テレビチャリティー委員会より 福祉サポート車を寄贈いただきました！



▲段差を少なくするステップが備えついており、乗り降りも快適です♪

▼車内には、乗降時や走行中につかめる手すりも多く、広くて乗り心地も良さそうですね！



令和4年3月、公益財団法人24時間テレビチャリティー委員会様より、福祉サポート車を寄贈いただきました。

本車両は、真狩社会福祉協議会が運営している送迎サービス等、福祉業務全般で使用させていただきます。

皆様からいただいた善意のご寄付に感謝するとともに、より安心・安全に利用者の方々を送迎するようご活用させていただきます。



## 新年度あいさつ

6月に入り、過ごしやすい季節となりました。日頃より、皆様方には本会の活動にご理解とご協力賜り、厚くお礼を申し上げます。

ほとんどの方の3回目の予防接種が終了しておりますが、2年半を経過したコロナ禍は一向に減少する気配もありません。残念ながら、それぞれの日常の中で今の生活に慣れがきているようにも思われます。この事態の終息が早く来ることを願うところであります。

新しい年度も2か月が経過、当会の令和4年度の事業計画及び事業予算につきましては、3月の理事会、評議員会においてご承認をいただいたところであります。

今回、その概要をお知らせいたしますとともに後に紹介しております新職員1名、臨時職員2名含め事業推進に取り組んでまいります。

村民の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

真狩村社会福祉協議会

会長 福田 恵子

## 令和4年度事業計画(概要) ～思いやり・支え合い みんなでつくるまちづくり～

近年、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化・人口減少という社会状況の中、新型コロナウイルス感染症の拡大は人びとの価値観や生活様式を大きく変えることとなりました。

その影響により、収入や雇用面などで困難を抱える住民が急増し、さらには、それぞれの活動や行事の多くが抑制されるなど、ふれあいの機会が大きく減少してきております。

昨年策定をした「第6期地域福祉実践計画」(基本目標「思いやり・支え合い・みんなでつくるまちづくり」)での取り組みは2年目を迎えております。しかしながら未だ、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、その時時に合った状況により、計画の本旨を損なうことなく事業を進めていくこととなります。

社会福祉協議会の使命は、地域福祉を進める中核的な団体として「誰もが安心して暮らすことができる福祉のむらづくり」を推進することにあります。

こうした情勢をふまえ、令和4年度も住民の互助・共助を推進し真狩村等と連携を図りながら必要な地域福祉事業を進めて参ります。

基本目標達成のためには、地域の支え合いを目的とした真狩村の「生活支援体制整備事業」への取り組みが重要と考えます。当会は生活支援コーディネーターとしての役割を担っており、村民の皆様が、今後もこの村に住み続けるために必要なこと、そして、村民自らが地域の課題を見つけ解決していくシステム作りを関係機関とともに取り組んでまいります。

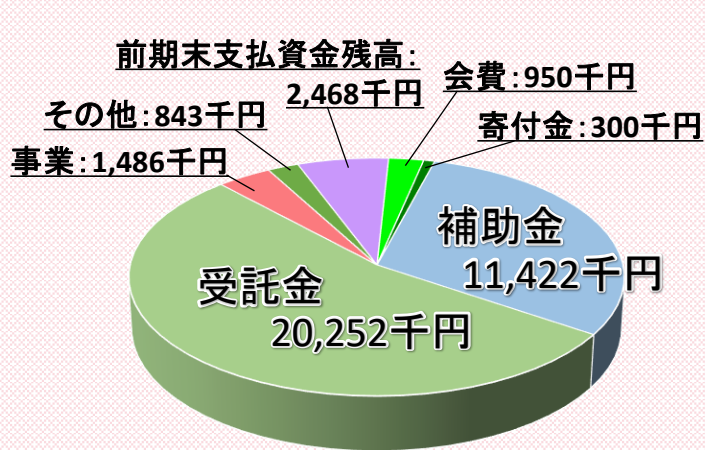
また、独居及び高齢のみの世帯が増加し、認知症や高齢者のための「権利擁護」事業の重要性が高まってきております。そのことから成年後見制度をはじめ、道社協からの委託である日常生活自立支援事業、当会の金銭管理等支援事業などの周知と充実に努めてまいります。

愛の送迎サービス・高齢者訪問活動等在宅を支える事業の多くは、直接住民と触れ合う福祉サービスとして定着しており、これらの事業も継続してまいります。

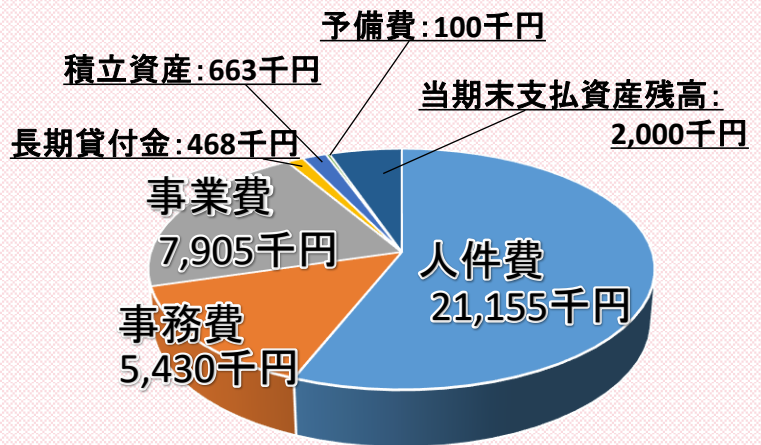
最後に今日の複雑な社会構造の変化の中、老老介護、さらには中高年の引きこもり状態を高齢者が支えていく8050問題など、福祉の課題は複雑・多様化してきております。

国は、「地域共生社会」の実現に向けての支援体制の整備を推進しております。当会でも、地域住民一人ひとりが、お互いを理解し、支え合い、身近な生活課題等に取り組んでいくことができるよう、みなさまのご支援ご協力をいただきながら、誰もが笑顔で暮らし続けることのできる福祉の実現を目指してまいります。

# 令和4年度収支予算



**総収入**  
37,721千円



**総支出**  
37,721千円

## 「地域福祉を支えるサポーター」

# 社協会員の募集について

真狩村社会福祉協議会は、村民の皆様からいただいた会費を地域の福祉活動に活用し、「みんなでつくるまちづくり」を目指しています。会員会費は一人でも多くの方に地域福祉に参画していただけることも大切な目的となっておりますので、会員制へのご理解をお願いいたします。

皆様からいただいている会費は、真狩村の地域福祉推進のための重要な財源となっております。

## 社協会員とは

社協の活動は、地域住民の皆さんの協働と参画で支えられています。会員の皆様には真狩村の福祉を財源面でサポートしていただいています！

## 会費の使途

地域に根差した福祉活動を支える貴重な財源として活用しております。

- ・地域福祉活動
- ・福祉車両の整備
- ・福祉の情報発信など

## 会費の種類

- 一般会費: 一般世帯 (一口1,000円)
- 賛助会費: 役職、篤志等 (一口500円)
- 特別会費: 福祉施設、団体 (一口5,000円)

## ご案内

毎年6月頃に自治会長、班長さまを通して皆様にご協力をお願いしております。また、特別会員（法人、団体等）や賛助会員（役職、個人等）として社協を応援して下さる方も随時募っておりますので、新規加入を希望される方は社協（☎45-3105）までご連絡をお願いいたします。







# 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金

## 結果報告

10月1日より全国一斉にスタートした赤い羽根共同募金運動並びに歳末助け合い運動。本年度も新型コロナウイルス感染対策を講じながら各募金運動を展開してまいりました。

町内会はじめ各団体、法人、商店の皆さまからあたたかいご支援、ご協力を賜り、多くのご寄付をいただきました。

寄せられた募金は村内の福祉団体への活動助成や地域の福祉活動に活用させていただきます。ありがとうございました。



### 赤い羽根共同募金

募金額 1,484,117円

- ★法人・商店募金 (80件 380,000円)
- ★戸別募金 (735,000円)
- ★役職域募金 (13事業所 155,082円)
- ★篤志募金 (4件 32,844円)
- ★学校募金 (5校 36,173円)
- ★各募金箱 (5店 11,696円)
- ★ピンバッジ募金 (59,150円)
- ★その他 (74,172円)

### 歳末たすけあい募金

募金額 459,790円

- ★戸別募金 (369,500円)
- ★役職域募金 (3事業所 61,000円)
- ★篤志募金 (4件 29,290円)



じぶんの町を良くするしくみ。

### 赤い羽根共同募金

### ドラえもんプロジェクト

ご協力ありがとうございました♪

令和4年1月より始まった「ドラえもんプロジェクト」(通称:ドラプロ)。

みなさんが描いてくれた、たくさんの「ドラえもん」は、保健福祉センターに掲示させていただきました。来館者の皆様からも大変ご好評をいただきました。

また、赤い羽根募金の活動についても併せてコーナーを設けており、赤い羽根募金について知っていただくとともに良い機会となりました。

ご協力ありがとうございました！また機会がありましたらよろしくお願いします。



# 真狩村共同募金委員会

## 令和4年度募金バッジデザイン決定!!



令和4年度の真狩村の募金バッジは小学三年生の佐藤陽莉(ひまり)さんの作品に決まりました!

カラフルな色使いで、真狩村の特産品の野菜たちを上手に取り入れていますね!

令和4年度募金バッジの取り扱いは  
**6月下旬頃**を予定しています!

▼他にも素敵なデザインをたくさん応募いただきました! 6月末まで保健福祉センターに掲示しておりますので、是非ご覧ください♪



令和元年度よりスタートした真狩村共同募金会のご当地募金バッジ。令和4年度は初の試みでバッジのデザインを村民の方による公募にて実施いたしました。

多くの応募の中から厳正な審査をし、デザインを決定させていただきました。

多数の応募をいただきありがとうございました。

また、来年度もぜひ、よろしくお願いします!!



## 生活福祉資金 特例貸付制度

### 新型コロナウイルス感染症の影響により 収入が減少した皆様へ(ご案内)

※各申請期限: **令和4年8月末まで**(当日消印有効)



#### 緊急小口資金 【特例貸付】

真狩村にお住まいの方で新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

一世帯につき1回限り  
20万円以内または10万円以内

#### 総合支援資金(生活支援費) 【特例貸付】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

単身世帯: 月15万円以内  
2人以上世帯: 月20万円以内  
(原則3か月以内)

※貸付に関する具体的な内容やご相談、お申込み等につきましては、  
真狩村社会福祉協議会(☎0136-45-3105)までお気軽にお問い合わせください。



# 真狩高校生 除雪ボランティアで地域貢献



2月24日(木)、真狩高校生1、2年生51名による除雪ボランティアが実施されました。除雪に困っている高齢者等を対象に歩いて回り、除雪のお手伝いをしました。今年は7件の依頼があり高校生はそれぞれグループに分かれて除雪作業を行いました。利用者からは「大変助かりました」「どうもありがとう」と感謝と喜びの声が聞かれました。

## 全国社会福祉協議会会長表彰受賞



受賞された原田秀雄氏

真狩村社会福祉協議会の元評議員（平成8年3月～令和4年2月在職）である原田秀雄氏が長年にわたる、地域福祉活動の功績を讃えられ、全国社会福祉協議会会長表彰「社会福祉協議会・民間福祉団体功労」を受賞されました。

表彰式は新型コロナウイルス感染防止のため、執り行われませんでした。真狩村保健福祉センターにて福田社協会長より表彰状と記念品が伝達されました。

## 防犯訓練

### 「刺股(さすまた)」を使用した実技指導



5月12日(木)、真狩村駐在所小竹所長ら3名にお越しいただき、刺股を用いた不審者への対応等について学びました。社協職員のほか、放課後児童クラブの先生も参加。二人一組となり、実技を交えた指導をしていただきました。保健福祉センターは、放課後児童クラブの他にも、地域の方も広く使用しているため、日頃からの防犯対策が求められています。最後には、女性に向けた簡単な護身術も学ぶなど防犯意識を高めるとても良い機会となりました。

# 話してスッキリ！笑って認知症予防 ～愛の訪問事業～

【目的】ご自宅を訪問し、お話することで、孤独感の解消を図ることや、安否確認を目的としています。

【対象者】75歳以上のみの世帯

※介護保険サービスを受けている方など、事業の対象外となってしまう場合があります。



コロナ禍で人と会う機会が減っていませんか？



少しの時間でもお話をし、気分転換しましょう♪



お問合せ、お申し込みは社会福祉協議会まで  
TEL：0136-45-3105

村民レシピ：第2弾！

## ～きゅうりと塩昆布のハリハリ漬け～



真狩村の方から、美味しい「きゅうりの漬物」のレシピを教えていただいたのでご紹介します♪真狩村では、ご家庭できゅうりを育てていらっしゃる方もいらっしゃるかと思います。ぜひ一度お試しください♪

### 【材料】

- ・きゅうり1kg（小口から薄切り）
- ☆生姜 1かけ
- ☆タカの爪 半分（種を出し小さく切る）
- ☆砂糖 50g
- ☆みりん 15cc
- ☆醤油 50cc
- ☆酢 50cc
- ・塩昆布 15g さっと水で塩を流す

### 【作り方】

- ①薄切りにしたきゅうりに1%の塩（10g）を入れ、よく混ぜ30分ぐらいおく。
  - ②塩昆布以外の☆の調味料を鍋に入れ、きゅうりを固く絞り入れてから強火で水分が無くなるまで混ぜ続ける（しっかりと混ぜる）。
  - ③冷めたら、塩昆布を入れて出来上がり
- ※冷凍することも出来ます♪
- ※タカの爪の量はお好みで♪

おつまみ  
やお弁当  
のおかず  
にも

完成～♪



お豆腐に乗  
せてもおい  
しいです♪





# 職員紹介

よろしくお願いします

真狩村社会福祉協議会は、現在、事務局長1名、正職員3名、臨時職員2名、管理人1名の計7名が在職しています。

令和4年度となり、新たに新入職員が加わりましたので、改めて全職員をご紹介します。



## 後段左より

主 事 佐藤 秀次  
事務局長 大平 慎一郎  
管 理 人 遠藤 公男  
主 事 梶谷 唯花

## 前段左より

⑨ 臨時職員 住田 祐子  
" 近井 直子  
会 長 福田 恵子  
⑨ 主 事 里見 麻美

## あたたかい善意のご寄附ありがとうございます

寄 附 月 日	氏 名	住 所	寄 附 目 的
令和3年12月29日	今橋 鶴子 様	真狩村字真狩	夫が生前お世話になったお礼として
令和4年3月23日	宮下 広一 様	真狩村字光	弟が生前お世話になったお礼として

【令和3年12月29日～令和4年3月23日までの期間】

寄附を頂いたお金は、地域の福祉活動の様々な事業の資金として、有効に活用させていただきます。ご厚志ありがとうございました。

## 食で繋がるプロジェクト

## メンバー募集！！

自宅に閉じこもりがちな人、お一人暮らしの高齢者や活動に賛同してくれる人などが、気軽に集まり、交流を楽しむことで地域に出るきっかけの場を目指しています！

- 活動回数～概ね月1回
- 活動時間～9:30～13:00
- 参加費 ～昼食分（※昼食を食べないときは無料）
- 対象者 ～真狩在住の方。性別年齢問いません!!

## 【発行者】

社会福祉法人 真狩村社会福祉協議会

電 話：0136-45-3105

FAX：0136-45-2174

住 所：虻田郡真狩村字真狩17番地

アドレス：m-fukusi.1048@white.plala.or.jp